

HOMESTAGING CASE STUDY

- どんな広さでも快適に！LDKの家具レイアウト事例集 -

リビングダイニング家具のコーディネートは、その空間での過ごし方はもちろん、空間に対する家具のボリュームを検討することが大切。場合によっては圧迫感が出たり、余白がありすぎたりするなど、見た目のバランスが悪いことで使いづらさを感じることも。今回は“広さ×暮らしのシーン別”にKAGKASのホームステージング事例をまとめました。それぞれの家の広さに応じた家具の選び方・レイアウトのご参考にお役立ていただければ幸いです。

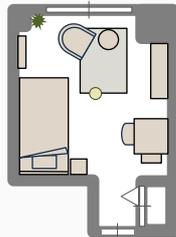
Scene 1.

単身or夫婦でくつろぐ豊かな日常

| Data |

広さ 1R 7.7帖
間取り ワンルーム
ターゲット 単身女性

ワンルームという限られた空間で、ダイニング・リビング・寝室のゾーニングが実現した事例。家具のアイテム数は充実させつつ、サイズ感をコンパクトかつ抜け感のあるデザインのものを選ぶことで圧迫感を抑え居心地の良さを演出しました。



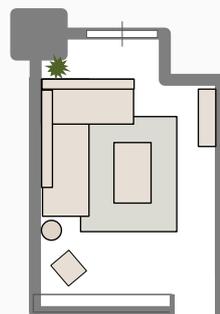
| Data |

広さ LD 9.4帖
間取り 2LDK
ターゲット 夫婦orシニア層



Point

スツールとしては大きいサイズ感(W538)。座面がゆるやかなカーブ状で座り心地もよい



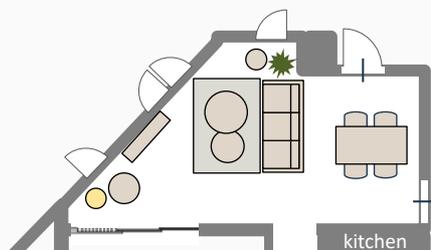
LD空間を広く見せるため、ダイニングソファセットでのレイアウトをご提案。ダイニングとしての機能を持ちながら、リビングのような過ごし方も叶います。デザイン性のあるペンダントライトやラタンのバスケットで、空間に温かみを感じられるアクセントをプラス。スツールを置くことで、同じ空間にしながら夫婦それぞれが程よい距離感で過ごせるようになっています。

ゆとりある空間の使い方

| Data |

広さ LD 16帖
間取り 3LDK
ターゲット ファミリー

リビング壁の一面が斜めになった珍しい空間。LDの中心に存在感のある大きいソファを贅沢に置いてもなお、ゆとりが感じられます。ソファ横にサイドテーブル、窓付近にスツールやフロアライトを置き、空間を余すことのない、充実感のあるコーディネートに仕上げました。



| Data |

広さ LDK 18帖
間取り 3LDK
ターゲット ファミリー

3人掛けソファを中心に、オットマンとラウンジチェアを組み合わせ、長方形のリビングにバランスよくレイアウト。家族団らんを楽しむ空間としてはもちろん、小さなお子様が遊んだり、友人を招いたときはラウンジチェアを移動させて向かい合って話したり、リビングでの多様なシーンを想定しました。



Point

人数や用途に合わせて移動させやすいラウンジチェアとオットマン

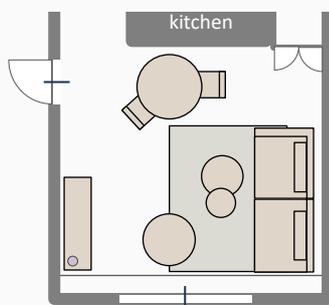


家族やゲストと共有する時間

| Data |

広さ	LDK 14.8帖
間取り	2LDK
ターゲット	夫婦 (セカンドハウス利用)

自炊はほぼしないセカンドハウスの想定で、ダイニングセットは最小限に。幅・奥行ともに大きめのソファ+窓際の立ち上がりをベンチのように演出することで、実際の広さよりも広く感じられる空間に。複数人の知人との外食後に自宅へ招き、リビングで歓談するといった利用シーンをコンパクトな空間で表現しました。



Point

セカンドハウスらしく、ホテルライクな非日常感を



Point

壁の幅にちょうど合うシェルフでフォーカルポイントに

| Data |

広さ	LDK 23帖
間取り	4LDK
ターゲット	ファミリー

リビングとダイニングが壁で緩やかに仕切られながら、それぞれのスペースに十分な広さがある間取り。リビングは片肘ソファを2台使用してL字型に配置。ダイニングには6人掛けダイニングテーブルとハイスツールも配置し、大人数のゲストを招いても、それぞれが居心地よく過ごせる空間を演出しました。

